

EXPO 2025

障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト

DANCE DRAMA
BREAK
THROUGH
JOURNEY

2021年大阪、2022年東京—そして、2025年。
ここから旅はまたはじまる。



作・総合演出 長谷川達也(DAZZLE)

EXPO ホール「シャインハット」(大阪・夢洲)

公演日時 2025年 10月7日(火) 18:30開演 / 10月8日(水) 11:30開演

観覧無料 (別途、大阪・関西万博入場チケットが必要です)



車いす席



日本語字幕



多言語字幕
(日本語・英語・繁体字中国語・
簡体字中国語・韓国語)



日本語手話通訳
(劇中は字幕のみ)



音声補聴
(ヒアリングループの稼働)



音声解説
(日本語・英語・中国語・韓国語)

～言葉にできない何かがそこにある～

アジアの片隅で暮らす、カメラマンを夢見る少年。

日本の地方で、音のない世界と向き合いながら踊る少女。

夢を語れず居場所をなくした少年と、孤独に向き合う少女は、ある日、動画サイトを通じて出会います。

画面越しのダンスに心を奪われた少年。

映像の風景に可能性を見出した少女。

まだ互いを知らないふたりの世界が、静かに交差し始めます。

すれ違い、傷つき、夢を見失いそうになりながらも、ふたりは歩み続けます。

そして旅の果てに、ようやくたどり着く、本当の出会い。

そのとき、ふたりは確信するのです。

夢は、ただ抱くだけではなく、一歩踏み出し、進むことで無限の可能性が広がるのだ——と



Photo: Ryohei Tomita



1996年結成。「すべてのカテゴリーに属し、属さない眩さ」を掲げ、独自のダンススタイルを確立してきたダンスカンパニー。ストリートとコンテンポラリーを融合し、ジャパニーズカルチャーを取り入れた物語性の高い作品が特徴。代表作である舞台『花ト皿』は海外に何度も招聘され、国際演劇祭での受賞歴も。2015年には坂東玉三郎氏が演出する舞台にて主演を果たす。2017年以降はイマーシブシアター（体験型公演）に注力し、「Touch the Dark」、「SHELTER」、「百物語」シリーズなどを展開。2021年には日本初の常設型シアター「Venus of TOKYO」を開業し話題に。2023年に「Lost in the pages」、「Unseen you」を常設した他（現在は閉業）、横浜で日本初の「クルージング・イマーシブシアター」も実現。現在は2024年10月～東京・大手町にイマーシブエクスペリエンス『Anemoia Tokyo』を常設中。日本の美意識を現代的感性で解釈したダンスとメディアートをナンバーバルかつインタラクティブ空間でインバウンドも楽しめる作品となっている。